

RON HERMAN
SUSTAINABILITY REPORT 2021
WE ARE ON OUR WAY.

Table of Contents

Love for Tomorrow3

Our Story4

Director’s Message5

2021 年度の進捗を数字で振り返る6

スコープ 1・2 のCO₂ 排出量7

2021 年のハイライト8-16

環境

コミュニティ

お客さま

チームメンバー

2022 年とその先の目標17

Far from where we’d like to be,
but a little closer than before.
We are on our way.

Love for Tomorrow

Today is Beautiful...

それは自分自身、家族、友人、お客さま、同僚、身の回りの環境、当たり前な日常への愛があったからこそ感じられること。今当たり前前に感じている美しさも近い将来なくなってしまうかもしれない。あすに向けて愛をもって行動するということは、あすの美しさを守ることに直結している。

「サステナビリティ」という言葉はもはや使われすぎて 意味があいまいになりかけている。「LOVE」という言葉も使われすぎかもしれない。だが、LOVE はけっしてあいまいではない。ロンハーマンは、LOVE のある本質的な サステナビリティに取り組みたい。



Our Story

Ron Herman

Ron Herman は 1976 年、ロサンゼルス ハリウッ드의メルローズアベニューに誕生しました。全てのお客さまに心地よく買い物を楽しんでもらいたい。お客さまの想像力をかき立てる心地よい刺激を与えたい。創業以来、一貫してそのコンセプトとともに歩んできました。

Style of Life California

Ron Herman がファッションを通じて提案してきたものです。“ファッションとは愛にあふれ、刺激的で楽しく、自由であるべきだ”という理念のもと、心地よくリラックスした空間で、Ron Herman に訪れる全てのお客さまに心からファッションを楽しんでいただきたい。そんな想いを大切にしています。

Today is Beautiful

私たちが創業以来大切にしてきた言葉の一つです。明日もそのずっと先も言い続けることができることを願います。アパレル産業が環境汚染産業二位という事実を受け止め、Ron Herman として、そしてファッションに携わるものとして何ができるかを真剣に考え模索する旅に出たのが2年前でした。自然環境の保全と地球温暖化の緩和をはじめ、地域社会との共存共栄、お客さまへより幅広い選択肢の提供、社内チームメンバーの幸福度向上を実現させるべく、2021 年の6月にRon Herman の サステナビリティビジョンを発表し、さまざまな形で取り組んでいます。

サステナビリティの根幹にも通ずる、創業以来からの“自然に対するリスペクト”や“良い服を永く大切に着る”という考え方は 変わりません。今まで通りお客さまに愛を持ってRon Herman の本質をお届けし続けます。

Director's Message

**Today is beautiful.
Happiness is the goal.
Love for tomorrow.**

Love for Tomorrow のスローガンを掲げ、新たな出発をした昨年6月。
当たり前と思っていたことに対して一度立ち止まり、考え、学び、時には悩み、議論して、
たくさんのチームメンバーが信念のもと行動した1年の結果が出ました。
その歩みはまだ道半ばですが、1年前とは確実に違います。

クリエイションを通して、
全ての幸せのベースとなる地球環境と、私たちが生きるこの社会にポジティブな影響を与え、
変わることができるんだという一つの道しるべをつくっていきたい。
私たちには未来をより良く変えていく力があるのです。

目は星に向け、地に足をつけ、
一步一步、でもできる限り早く、ユーモアも忘れずに、
多くの皆さんとともに進んでいきたいです。

Ron Herman Director
根岸由香里

2021

2021 年度の進捗を数字で振り返る

CO₂
Emissions

2019 年比で約
-14%
のCO₂ 排出量の削減*

End of
Season Sale

14/22 店**
セールを廃止している
ロンハーマン店舗

Sell-thru
Rate

80%
プロパー
店舗消化率達成**

Solar Energy
Production

1 機
太陽光発電
(ソーラーシェアリング)
施設の通電開始

Letter
to Partners



159 社
取引先ブランドへの
サステナブル素材
ガイドラインの共有

注 :2021 年度の期間 (04/2021 – 03/2022) * スコープ 1・2 (社用車と店舗の使用電力);
** プロパー店舗 (オンラインストアを含む; アウトレット店舗, 匠瑳店を除く);
消化率の計算 = (21 年度のプロパー店舗での上代ベース売り上げ高 / プロパー店舗に投入されたプロパー商品の上代金額)

CO₂

店舗のCO₂ 排出量

ロンハーマン店舗 CO₂ 排出量状況



2019

0/22 店舗
再生可能エネルギー利用
CO₂ 排出量：約 2,250t
総 CO₂ 削減：0%



2021

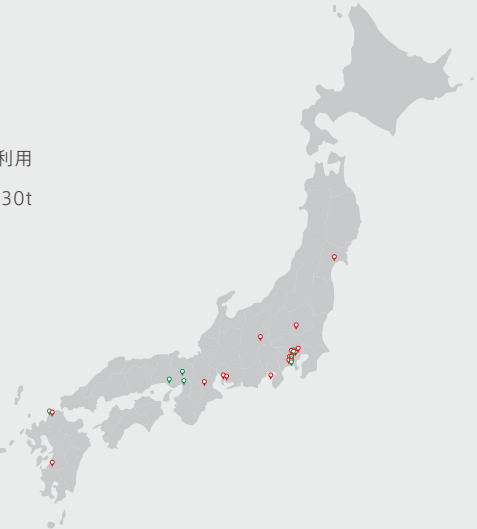
5/24 店舗
再生可能エネルギー利用
CO₂ 排出量*：約 1,940t
総 CO₂ 削減：-14%



2021 年のCO₂ 排出量は 2019 年比で実質-14% の削減を達成しました。

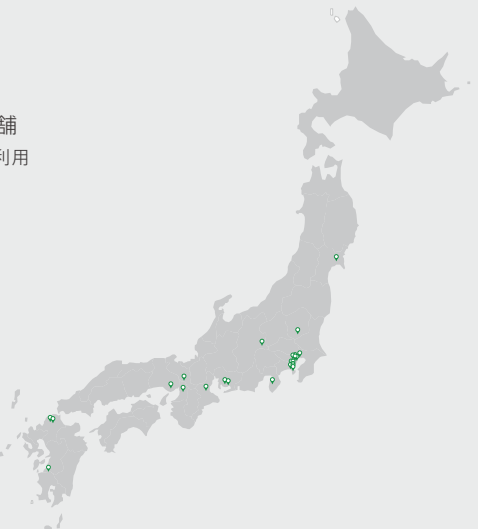
2022

7/25 店舗
再生可能エネルギー利用
CO₂ 排出量*：約 1,730t
総 CO₂ 削減：-23%



2030

25/25 店舗
再生可能エネルギー利用
CO₂ 排出量：実質 0t
総 CO₂ 削減：-100%



2022 年のCO₂ 排出量は 2019 年比の約-23% を 見込んでいます。

主な要因は店舗の電力を再生可能エネルギー由来の電力メニューへ切り替えたことと、自社のソーラーシェアリング施設 (ロンハーマン匝瑳店) の設立によるものです。

今年はさらに再生可能エネルギー由来の電力を使用する店舗数を増やすことに加え、新たなソーラーシェアリング施設の建設を予定しています。

2021 Highlights

2021 年度における活動のハイライト

Environment

01.

環境を守る

サステナビリティといえば真っ先に思い浮かぶのが環境だ。
衣食住は生活に必要不可欠で、私たちの暮らしを豊かにしてくれるものの、環境への負荷も きわめて大きい。
どう対処すべきなのか？



Community

02.

コミュニティとの
関わりを深める

他業種と連携することで、自社のみで 活動するよりはるかに大きな社会的 インパクトを 創出できる。
サプライヤーとの 連携や社会貢献活動などを通して
コミュニティ（地域社会）との関わりを深める。



Customer

03.

お客さまに
幸せを届ける

お客さまは私たち小売業にとって一番重要なステークホルダーと言っても過言ではない。
どうすればいままですらに程よい刺激と幸せを提供できるか。



Team Member

04.

チームメンバーの
幸福度を高める

チームメンバーの意見をしっかりと取り入れ、
幸福度を向上させ、持続可能な労働環境を築いていく。



2021 Highlights

環境を守る



ソーラーシェアリング事業開始

千葉県匝瑳市に 2021 年 10 月
Ron Herman 匝瑳店をオープンしました。



14/22 のプロパー店舗でセール廃止

2021 年 7 月に 13 のRon Herman 店舗とオンラインストア
でセールを廃止しました。



プロパー店舗消化率 80% 達成

プロパー店舗に投入された商品のうちの消化率 80% を達成しました。



オリジナル商品の環境配慮型素材の 比率を向上

22 年度のレポートに向けて使用素材のデータ基盤を
作成中ですが、環境配慮型素材の導入を加速しています。



衣類梱包用の不織布を 100% リサイクル素材に切り替え

Ron Herman の新不織布はRETEXPET という不要に
なった衣類繊維 3% と使用済みPET ボトル 97% から
できている素材に変更しました。



店舗間の商品移動に伴う配送料と 資材利用を金額ベースで 20% 削減

店舗間の商品移動のスケジュールを見直し、配送頻度と
使用資材を金額ベースで 20%削減しました。

2021 Highlights

環境を守る



カフェのフードロスを経額ベースで 48% 削減 (2020 年比)

発注の管理やショーケースに並ぶスイーツの当日完売を目指した運営を通して経額ベースでフードロスを 20 年と比べて約半分に削減しました。



カフェのTO GO カップをプラスチックから 紙に変更

2021 年 10 月から全店舗のカフェでTO GO カップをプラスチックから紙に変更しました。ストローはサトウキビ由来の素材を使用しています。



本部社員の名刺を全てFSC 認証紙に変更

本部社員の名刺・クレド (チームメンバーの行動指針を記載するカード) を全てFSC 認証紙へ切り替えました。FSC 認証は適切に管理された森林の木材を使用して作られた紙です。



自社倉庫の梱包資材の使用方法を見直し、 資材発注を経額ベースで 17% 削減 (2020 年比)

月別の梱包資材の使用量のデータを管理し、アイテム単位の適正使用量のルール化や入荷時・引き下げ時の梱包資材の再利用を推進しています。倉庫からの総出荷数は 2020 年に比べ、14% 増えたものの(そのうち資材の使用が多いLIVING の総出荷数は 12% 増)、資材の発注額を 17% 削減することができました (発注単価は変動していません)。



オンラインストアの配送資材の切り替え

使い捨てプラスチックゴミを削減することを目標に、新しい仕様の配送箱を導入しました。エアパッキンの使用量削減のため代替として、ボークスペーパーの使用を開始しました。

2021 Highlights

コミュニティとの関わりを深める



159 の取引先ブランドにサステナブル素材のガイドラインを共有

お取り扱いブランドにRon Herman / RHC Ron Herman が推奨するサステナブル素材の認証をまとめたガイドラインを送付させていただきました。



メディア出演や他業種のシンポジウム等に参加

WWD JAPAN・7Rules・東京財団研究所などのメディア・シンポジウムに参加させていただきました。



店舗周辺で継続的にごみ拾い・ビーチクリーン活動を実施

店舗メンバーが主導で二子玉川、逗子マリーナ、京都、RHC 大阪店をはじめ、複数の店舗で継続的に近隣のごみ拾い活動を実施しています。



アパレル業界内外の他社との情報共有・意見交換

アパレル業界・他業種の他社と サステナビリティ推進についての数々の意見交換会を実施しました。今後も共同プロジェクトの可能性を探索し続けます。



千葉県匝瑳市の地域活性化の支援

Ron Herman 匝瑳店で行っている ソーラーシェアリングの売電収入は、地域の村づくり基金と農家さんの活動を支援します。体験活動等を通して地域の方々との交流を深める取り組みも行っています。

Fashion

2021 Highlights

お客さまに幸せを届ける – オリジナルブランド



Ron Herman California – Men’s ECONYL Taffeta Liner Jacket

AQUAFIL 社（伊）が海洋ゴミや漁網などの廃棄物を再利用して開発した 100% 再生ナイロン糸を原料とした LIMONTA 社（伊）のECONYL Taffeta を使用したLiner Jacket を販売しました。裏地はペットボトルを回収して再利用したリップストップを使用しており、中綿には再生ポリエステルを 30%含み静電気抑制と太陽光発熱の効果がある機能素材を使用しました。



Ron Herman California – Women’s / Men’s Saisei Sweat

Ron Herman California では岐阜にある老舗の紡績工場（株）ナイガイテキスタイルとタッグを組み、これまで捨てられていたものたちを反毛（※反毛・・・綿や毛などの天然繊維でつくられた繊維製品を崩すことによって毛羽立たせ、わた状に戻すこと）し、再生糸として蘇らせる “彩りよく生まれ変わる”Saisei―彩生シリーズを展開しました。



RHC – Overall for Women Work Shirt for Men

定番RHC DENIM で取り組みをしている工場から回収されたデニムの裁断くずを糸に再生し、アップサイクル糸でできた LOOPLUS 生地を使用しています。通常廃棄される裁断くずが形になるまでの全ての工程が国内で行われています。廃棄される無駄を軽減し、新しいものへと生まれ変わります。



Ron Herman DENIM

Ron Herman DENIM のUSED WIDE DENIM ・USED STRAIGHT DENIM ・SLIM STRAIGHT DENIM では国内で生産されたデニムの裁断くずを糸に再生し、福山で織り上げた LOOPLUS 生地を使用しています。生地の再生率は 6% で通常の洗い工程全体の 30%の水利用量を削減しています。

Cafe



ファーマーズサラダ

顔の見える契約農家直送の三浦野菜を使用したファーマーズサラダの提供を 開始しました。



ヴィーガンライスボウル

黒米、ケール、ファラフェル、豆腐、レンコン、ひじきを使用したヴィーガンメニューの提供を始めました。



ヴィーガンバーガー

ビーツのパティとアボカドディップが含まれた植物性の具材をヴィーガンバンズで提供します。



オーツミルクバナナジュース

人気のバナナジュースを植物性ミルクのオーツミルクでアレンジしました。バナナは完熟したものを使用します。

2021 Highlights

お客さまに幸せを届ける – セレクト



weave the story 13 人のデザイナーと特別企画を実施

weave the story は、Foundation 1976 の新たな取り組みとして、さまざまな理由で着られなくなりクローゼットで眠っている服を 13 人のデザイナーから集め、その洋服と過ごした物語をつづってもらいました。



ANYA HINDMARCH “Return to Nature”イベントを開催

Return To Nature は、バッグとしての役目を終えた時、廃棄されるのではなく、生分解され土に還ることができること、自然界の循環・将来的に廃棄物を限りなくゼロに近づけることを目的として生まれました。



OAMC : REWORK コレクションの展開

「RE:WORK」のコンセプトは、既存の衣服を再利用し、新しいデザインのアイデアに組み込むことです。2022 年春夏シーズンにRon Herman で展開をスタートしました。



DESCENDANT x Ron Herman x THINC PROJECT の展開

“THINC PROJECT”では、スタジオで製作されるサンプルの数々を素材としてフィーチャーしました。ほとんどは販売するに至らず、未完成のままで保管されているサンプルをプロダクトとして新たな息吹を与えることにチャレンジしました。

2021 Highlights

お客さまに幸せを届ける – セレクト



RHC Ron Herman Green Dance Jam イベントを開催

環境に配慮した素材や、廃棄物を活用した素材を用いて生産方法にも配慮した衣食住を通した商品の販売、長く愛用されることを願うRHC に関わりのあるアーティストやブランドにご協力いただきました。売り上げのうち 50 万円をWWF に寄付させていただきました。



OUTERKNOWN x RHC x NAZe のコラボレーション企画を実施

湘南鎌倉を拠点にする特定非営利活動法人NAZe のイベントに参加。LA 発のブランドOUTERKNOWN とのコラボレーション商品に加え、ケリースレーター氏のサイン入りサーフボードを販売し、その売り上げの全額 50 万円をSurfrider Foundation Japan に寄付させていただきました。



Eyes on the stars – 自由な クリエーションを通したさまざまなコレクションをローンチ

縁のあるブランドとの未来に向けた新しい取り組み “Eyes On The Stars”コレクションをローンチ。倉庫に眠った残布を利用した別注コレクションをAuralee やUNION LAUNCH と発表。サステナブル素材に特化したトレーサブルで地産地消を目指したJohn Patric とのプロジェクトthe beautiful をローンチ。環境負荷の低い竹を原料としてつくられたカットソーブランドtakes. をエクスクルーシブローンチ、別注も発売。日本の職人との協業では、UNION LAUNCH の藍染タンクトップ、KANAKO SAKAI のタイダイセットアップ、Fil Melange のボタニカルダイオーガニックコットンタンク、ASAUCE MELER のオーガニックリネンボタニカルダイストールなどを販売しました。

2021 Highlights

チームメンバーの幸福度を高める



本部社員のeNPS 調査を実施し、課題解決に向けて活動開始

2021 年 6 月に本部社員のeNPS 調査 (エンployee・Nett・ProMoter・スコア
ー従業員エンゲージメントを可視化する指標) を実施し、結果についてワークショップを開催しました。
課題解決に向けて活動に取り組んでいます。



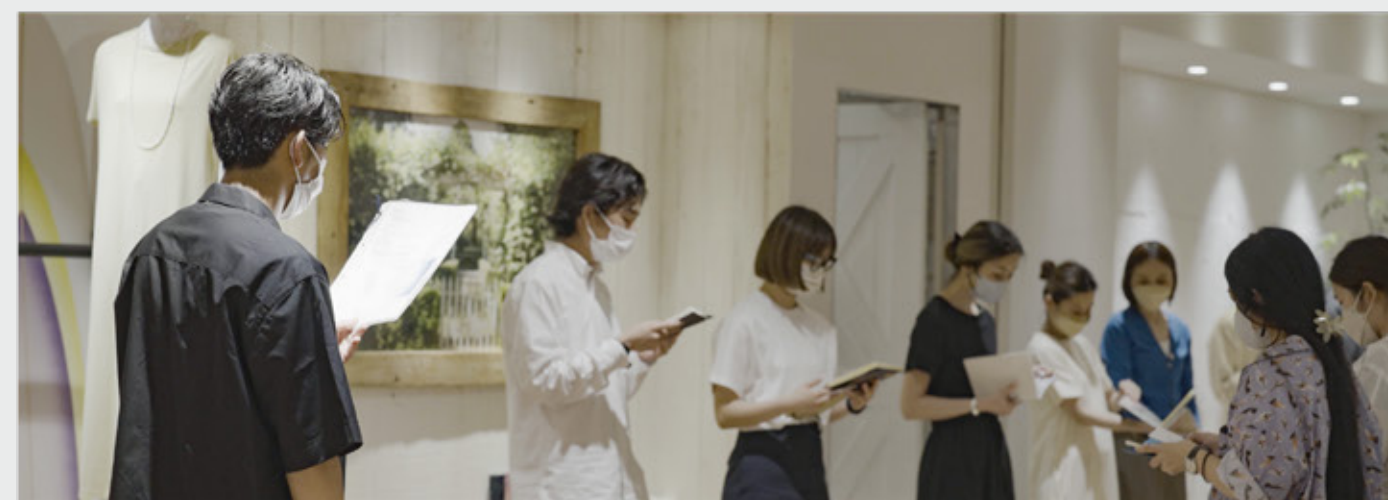
店舗のサステナビリティ担当を設け、意見交換会を開催

全店舗にサステナビリティ担当を設け、それぞれの店舗で独自の活動を推進しています。
定期的に全メンバーの意見交換会も開催しています。



部長クラスのエシカルコンシェルジュ講座の受講を支援

各部門長にエシカル協会が主催するエシカルコンシェルジュ講座の受講を支援し、
社内の意識向上を図りました。



マネージャークラスにコーチング研修の受講を支援

本部と店舗のマネージャーにコミュニケーション質の向上を目的に
コーチング研修の受講を支援しました。

2021 Highlights

チームメンバーの幸福度を高める



千駄ヶ谷店でスタッフ・エンゲージメントの向上の施策を実施

定期的な上司との面談とセクションを超えて仕事に対することをざっくばらんに話すミーティングを隔週開催しています。



二子玉川店でスタッフインタビューの実施

毎月、店舗スタッフ個人にさまざまなインタビューを実施してメールで店舗全体に配信しています。



福岡店で働きがいスピーチの 実施

働きがいについてのスピーチを朝礼で実施し、残業のないワークフローや他メンバーとのコミュニケーションなど多様なトピックについて話し合います。



京都店で表彰式の実施

年に一度、店舗スタッフをさまざまな観点から表彰をします。例えばホスピタリティ溢れていた人、ファッションを楽しんだ人賞などがあります。

2022

2022 年とその先の目標

環境

コミュニティ

チームメンバー

お客さま

CREATE: 自由な発想で楽しみながら新たな取り組みを生み出し、持続可能な社会に向けた流れを自然につくっていく。

SCIENCE: 最重要課題に集中して取り組むため、活動結果のデータ基盤を構築し、可能な限り実績を可視化する。

CO2 排出量の更なる削減

匠瑳店での活動を拡大

社員アンケート・
改善プランの継続的な実施

笑顔になれる場所の提供

素材の探求・サプライヤー
への働きかけ

アパレル業界内の情報交換
・コラボレーション企画の実施

更なる成長・育成の施策

多様なニーズに応えた
選択肢を幅広く提供

社内・店舗の節電
資材の見直し

働きやすい環境づくり・
柔軟にチームメンバーの
ニーズに応える

Love for Tomorrow の
活動についての情報を配信